







# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 登録販売者 3章Ⅱ	授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 志賀 瑞季																																									
授業の回数 20回	時間数 (単位数) 30時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必須																																								
実務経験 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 登録販売者の経験を通して、医薬品とその作用について教授する。																																											
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>○登録販売者として必要な医薬品とその作用について理解している。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>○登録販売者として必要な医薬品とその作用についての知識を修得します。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○一般用医薬品において用いられる主な有効成分に関して、「基本的な効能効果及びその特徴」「飲み方や飲み合わせ、年齢、基礎疾患等、効き目や安全性に影響を与える要因」「起こり得る副作用」等の知識を修得できる。</p>																																											
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td style="width: 15%;">第1回</td><td>かぜ薬</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>解熱鎮痛薬</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>眠気を促す薬・眠気を防ぐ薬</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>鎮暈薬</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>鎮咳去痰薬</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>口腔咽喉薬・うがい薬</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>胃の薬</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>腸の薬</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>胃腸鎮痛鎮痙薬</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>浣腸薬・駆虫薬</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>強心薬</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>高コレステロール・貧血用薬</td></tr> <tr><td>第13回</td><td>循環器用薬・痔の薬・婦人薬</td></tr> <tr><td>第14回</td><td>内服アレルギー用薬</td></tr> <tr><td>第15回</td><td>眼科用薬</td></tr> <tr><td>第16回</td><td>皮膚薬</td></tr> <tr><td>第17回</td><td>歯痛・歯槽膿漏薬・禁煙補助剤・滋養強壮保健薬</td></tr> <tr><td>第18回</td><td>公衆衛生用薬・一般用検査薬</td></tr> <tr><td>第19回</td><td>定期試験</td></tr> <tr><td>第20回</td><td>定期試験の返却・復習</td></tr> </table>				第1回	かぜ薬	第2回	解熱鎮痛薬	第3回	眠気を促す薬・眠気を防ぐ薬	第4回	鎮暈薬	第5回	鎮咳去痰薬	第6回	口腔咽喉薬・うがい薬	第7回	胃の薬	第8回	腸の薬	第9回	胃腸鎮痛鎮痙薬	第10回	浣腸薬・駆虫薬	第11回	強心薬	第12回	高コレステロール・貧血用薬	第13回	循環器用薬・痔の薬・婦人薬	第14回	内服アレルギー用薬	第15回	眼科用薬	第16回	皮膚薬	第17回	歯痛・歯槽膿漏薬・禁煙補助剤・滋養強壮保健薬	第18回	公衆衛生用薬・一般用検査薬	第19回	定期試験	第20回	定期試験の返却・復習
第1回	かぜ薬																																										
第2回	解熱鎮痛薬																																										
第3回	眠気を促す薬・眠気を防ぐ薬																																										
第4回	鎮暈薬																																										
第5回	鎮咳去痰薬																																										
第6回	口腔咽喉薬・うがい薬																																										
第7回	胃の薬																																										
第8回	腸の薬																																										
第9回	胃腸鎮痛鎮痙薬																																										
第10回	浣腸薬・駆虫薬																																										
第11回	強心薬																																										
第12回	高コレステロール・貧血用薬																																										
第13回	循環器用薬・痔の薬・婦人薬																																										
第14回	内服アレルギー用薬																																										
第15回	眼科用薬																																										
第16回	皮膚薬																																										
第17回	歯痛・歯槽膿漏薬・禁煙補助剤・滋養強壮保健薬																																										
第18回	公衆衛生用薬・一般用検査薬																																										
第19回	定期試験																																										
第20回	定期試験の返却・復習																																										
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>①『登録販売者試験テキスト&amp;要点整理』 薬事日報社</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>① 4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。</p> <p>② 定期試験 (100点) で評価。</p>																																									



# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 登録販売者 5章	授業の種類 ((講義)・演習・実習)	授業担当者 竹中 みちる	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 45時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必須
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なし</span>			
[授業の目的・ねらい] ○医薬品の適正使用・安全対策を理解している。			
[授業全体の内容の概要] ○医薬品の適正使用・安全対策を修得します。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○医薬品の添付文書及び製品表示の構成項目、記載内容について理解している。 ○医薬品の安全性情報の収集、評価、提供の仕組みについて理解している。 ○医薬品副作用被害救済制度の仕組みについて理解している。 ○過去に実践された一般用医薬品の主な安全対策の事例について理解している。 ○「してはいけないこと」について理解している。 ○「相談すること」について理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]  第1～3回            医薬品の適正使用情報 第4～5回            製品表示の読み方 第6～7回            復習 第8～9回            安全性情報など、その他の情報 第10～11            購入者等に対する情報提供への活用 第12～13            医薬品の安全対策 第14～15            復習 第16～17            医薬品の副作用等による健康被害の救済 第18回                一般用医薬品に関する主な安全対策 第19回                医薬品の適正使用のための啓発活動 第20～27            別表 第28回                復習 第29回                定期試験 第30回                定期試験の返却・復習			
[使用テキスト・参考文献] ①『登録販売者試験テキスト&要点整理』 薬事日報社		[単位認定の方法及び基準] ① 4/5以上の授業に参加していることで、 定期試験を受験することができる。 ② 定期試験 (100点) で評価。	



# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 登録販売者試験対策Ⅱ	授業の種類 ((講義)・演習・実習)	授業担当者 佐々木 春奈	
授業の回数 150回	時間数 (単位数) 225時間 (15単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必須
実務経験 あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/>			
[授業の目的・ねらい] ○登録販売者試験の合格を目指します。			
[授業全体の内容の概要] ○登録販売者試験過去問題を基に受験対策を行います。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○登録販売者試験過去問題の内容をすべて理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
第1～146回      第1章：医薬品に共通する特性と基本的な知識 第2章：人体の働きと医薬品 第3章：主な医薬品とその作用 第4章：薬事関係法規・制度 第5章：医薬品の適正使用・安全対策 問題集・過去問題の解答・解説・復習			
第147～149回    定期試験			
第150回          定期試験の返却・復習			
[使用テキスト・参考文献] ①『登録販売者試験テキスト&要点整理』 薬事日報社		[単位認定の方法及び基準] ①4/5以上の授業に参加していることで、 定期試験を受験することができる。 ②定期試験(100点)で評価。	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 薬学		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 志賀 瑞季	
授業の回数 80回	時間数 (単位数) 120時間 (8単位)	配当学年・時期 1年・通年		必修・選択 必須	
実務経験 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あり</span> なし 登録販売者の経験を通して、医薬品に共通する特性と基本的な知識を教授する。					
[授業の目的・ねらい] ○薬学の知識を修得し、薬学検定3級の合格を目指します。					
[授業全体の内容の概要] ○標準的なレベルの薬学知識について講義します。					
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○一般用医薬品・医薬部外品・サプリメント・特定保健用食品について、有効成分の作用・効果 (効能)・副作用・使用上の注意を理解している。 ○医療用語を理解している。 ○生活習慣病等の疾患について理解している。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
第1～2回	薬学概論	第34回	小テスト・復習		
第3回	小テスト・復習	第35回	かぜ薬		
第4回	薬の服用方法	第36～37回	胃腸薬①		
第5回	薬の形	第38回	胃腸薬②		
第6～7回	薬の副作用	第39回	目薬		
第8回	小テスト・復習	第40回	小テスト・復習		
第9回	女性, 子供, お年寄り と薬	第41回	乗物酔い止め薬		
第10～11回	相互作用	第42～43回	肩こり・腰痛・筋肉痛の薬		
第12～13回	生活習慣病の基礎知識	第44回	外用皮膚炎薬		
第14～15回	持病のある人と大衆薬	第45回	小テスト・復習		
第16回	小テスト・復習	第46回	下痢止め薬		
第17～19回	栄養素	第47回	整腸薬		
第20～21回	保健機能食品	第48～49回	定期試験・復習		
第22～23回	サプリメント	第50回	便秘治療薬		
第24回	アレルギー	第51回	水虫治療薬		
第25回	小テスト・復習	第52回	痔治療薬		
第26回	予備	第53回	小テスト・復習		
第27～28回	薬学総論テスト・復習	第54回	予備		
第29～30回	解熱鎮痛薬	第55回	お薬各論テスト・復習		
第31～32回	鎮咳去痰薬	第56～60回	公式テキストABC		
第33回	鼻炎用薬	第61～80回	薬学検定試験対策		

<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>①『薬学検定試験対策&amp;過去問3級4級』 一ツ橋書店</p>	<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>①4/5以上の授業に参加していることで、 定期試験を受験することができる。 ②定期試験（100点）で評価。</p>
---	---

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) キャリア実践 I	授業の種類 ((講義)・(演習)・実習)	授業担当者 志賀 瑞季	
授業の回数 32回	時間数 (単位数) 48時間 (3単位)	配当学年・時期 1年・通年	必修・選択 必須
実務経験 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">あり</span> なし 登録販売者の経験を通して、医薬品に共通する特性と基本的な知識を教授する。			
[授業の目的・ねらい] ○自分が目標とする登録販売者へのキャリアプランを設計し、実現に向けて行動していきます。			
[授業全体の内容の概要] ○自己理解・将来設計 ○実習フィードバック			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○キャリアプランを設計し、実現に向けて行動できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
第1～4回            自己理解 第5～6回            将来設計 第7～8回            登録販売者理解 第9～12回          実習フィードバック 第13～14回        自己理解・将来設計 第15～16回        実習フィードバック 第17～18回        意見交換 第19～20回        実習フィードバック 第21～22回        意見交換 第23～24回        実習フィードバック 第25～26回        実習フィードバック 第27～28回        自己理解・将来設計 第29～30回        実習フィードバック 第31～32回        登録販売者理解			
[使用テキスト・参考文献] なし		[単位認定の方法及び基準] ① 4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ② 定期試験 (課題) (100点) で評価する	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) キャリア実践Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者	
授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	必修・選択 必須		
実務経験					
[授業の目的・ねらい] [授業全体の内容の概要] [授業終了時の達成課題 (到達目標)]  2021年度開設予定					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び基準]		

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 接客販売学	授業の種類 ((講義)・(演習)・実習)	授業担当者 竹中 みちる	
授業の回数 10回	時間数 (単位数) 15時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・前期	必修・選択 必須
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">なし</span>			
[授業の目的・ねらい] ○登録販売者に必要な接客販売術を身につけます。			
[授業全体の内容の概要] ○接客販売を体系的に学びます。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○接客販売を体系的に理解している。 ○学んだ内容を基に接客販売を実演できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
第1回                    自分を知る (自己覚知)			
第2～3回                接客基本			
第4～5回                クレーム対応			
第6～8回                接客販売テクニック			
第9～10回              定期試験			
[使用テキスト・参考文献] なし		[単位認定の方法及び基準] ① 4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ② 定期試験 (100点) で評価。	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 企画運営学	授業の種類 ((講義)・(演習)・実習)	授業担当者 佐々木 春奈													
授業の回数 10回	時間数 (単位数) 15時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必須												
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なし</span>															
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企画運営を実践することで、登録販売者に必要な統率力・分析力・社会人基礎力を身に付けます。</li> </ul> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企画・運営の実践</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企画運営の経験を積むことができる</li> <li>○統率力・分析力を身に付けることができる</li> <li>○意見を聞く力、意見を伝える力の向上</li> </ul>															
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">第1回</td> <td style="width: 80%;">担当割り</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">グループ交流</td> </tr> <tr> <td>第2～4回</td> <td>企 画 (グループ)</td> </tr> <tr> <td>第5～6回</td> <td>準 備 (全体)</td> </tr> <tr> <td>第7～8回</td> <td>運 営</td> </tr> <tr> <td>第9～10回</td> <td>振 返 り</td> </tr> </table>				第1回	担当割り		グループ交流	第2～4回	企 画 (グループ)	第5～6回	準 備 (全体)	第7～8回	運 営	第9～10回	振 返 り
第1回	担当割り														
	グループ交流														
第2～4回	企 画 (グループ)														
第5～6回	準 備 (全体)														
第7～8回	運 営														
第9～10回	振 返 り														
[使用テキスト・参考文献] なし		[単位認定の方法及び基準] ① 4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ② 定期試験 (課題) (100点) で評価。													

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) POP 演習	授業の種類 (講義) (演習) ・ 実習 )	授業担当者	
授業の回数 12 回	時間数 (単位数) 18 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・後期	必修・選択 ( )
実務経験 あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/>			
[授業の目的・ねらい] ○POP 広告クリエイター技能審査試験の合格を最終目標とし、POP 広告について学びを深め、販売現場にて実践できるようにする。			
[授業全体の内容の概要] ○POP 広告作成に必要なマーケティング知識および文字書体、広告配置などをテキストと試験過去問題から講義します。 ○POP 広告作成に必要な技術獲得を目指し、演習を行いません。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○POP 広告クリエイター技能審査試験の合格を最終目標とし、POP 広告を作成する際に必要な情報を自ら集め、作成できることを目指します。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
第 1 回      POP 広告とは？—広告の種類、広告の目的 第 2 回      POP の書き方①—ペンの種類と色の違い 第 3 回      POP の書き方②—色の違いと文字の違い 第 4 回      POP の書き方③—とめ、はね、はらいの書き方 第 5 回      POP 実践①      —POP 作成 第 6 回      POP 実践②      —POP 作成 第 7 回      POP 実践③      —POP 作成 第 8 回      POP 実践④      —POP 作成 第 9 回      POP 実践⑤      —POP 作成 第 10 回     POP 検定対策①—筆記および実技 第 11 回     POP 検定対策②—筆記および実技 第 12 回     予備コマ			
[使用テキスト・参考文献] ①『POP 広告実技講座学科テキスト』 ②『POP 広告作品集』 ③『POP 広告実技ワークブック』 社団法人公開経営指導協会 著		[単位認定の方法及び基準] ① 4 / 5 以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ② 定期試験 (100 点) で評価。	

授業のタイトル（科目名） POP 演習		授業の種類 （ 講義 ・ 演習 ・ 実習 ）		授業担当者	
授業の回数 12 回		時間数（単位数） 18 時間（1 単位）		配当学年・時期 1 年・後期	
実務経験 あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>					
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>○POP 広告クリエイター技能審査試験の合格を最終目標とし、POP 広告について学びを深め、販売現場にて実践できるようにする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>○POP 広告作成に必要なマーケティング知識および文字書体、広告配置などをテキストと試験過去問題から講義します。</p> <p>○POP 広告作成に必要な技術獲得を目指し、演習を行いません。</p> <p>[授業終了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>○POP 広告クリエイター技能審査試験の合格を最終目標とし、POP 広告を作成する際に必要な情報を自ら集め、作成できることを目指します。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第 1 回 POP 広告とは？—広告の種類、広告の目的</p> <p>第 2 回 POP の書き方①—ペンの種類と色の違い</p> <p>第 3 回 POP の書き方②—色の違いと文字の違い</p> <p>第 4 回 POP の書き方③—とめ、はね、はらいの書き方</p> <p>第 5 回 POP 実践① —POP 作成</p> <p>第 6 回 POP 実践② —POP 作成</p> <p>第 7 回 POP 実践③ —POP 作成</p> <p>第 8 回 POP 実践④ —POP 作成</p> <p>第 9 回 POP 実践⑤ —POP 作成</p> <p>第 10 回 POP 検定対策①—筆記および実技</p> <p>第 11 回 POP 検定対策②—筆記および実技</p> <p>第 12 回 予備コマ</p>					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>①『POP 広告実技講座学科テキスト』</p> <p>②『POP 広告作品集』</p> <p>③『POP 広告実技ワークブック』</p> <p>社団法人公開経営指導協会 著</p>			<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>① 4 / 5 以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。</p> <p>② 定期試験（100 点）で評価。</p>		

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 調剤事務	授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 志賀 瑞季	
授業の回数 66回	時間数 (単位数) 99時間 (6単位)	配当学年・時期 2年・後期	必修・選択 必須
実務経験 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あり</span> なし 登録販売者の経験を通して、医薬品とその作用について教授する。			
[授業の目的・ねらい] ○保険調剤薬局における処方せんの内容、受付や会計、保険請求分のレセプト作成方法を理解している。 [授業全体の内容の概要] ○保険調剤薬局における処方せんの内容、受付や会計、保険請求分のレセプト作成の知識を修得します。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○調剤に要した費用 (調剤報酬) を計算する知識とレセプト作成の知識を修得できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]  第1～10回      医療保障制度 (テキスト1)  第11～34回      算定とレセプト (テキスト2)  第35～42回      トレーニングブック (テキスト3)  第43～62回      対策授業  第63～64回      定期試験  第65～66回      定期試験の返却・直し			
[使用テキスト・参考文献] ① テキスト1 医療保障制度 ② テキスト2 算定とレセプト ③ テキスト3 トレーニングブック		[単位認定の方法及び基準] ① 4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ② 定期試験 (100点) で評価。	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 卒業研究	授業の種類 ((講義)・演習・実習)	授業担当者 佐々木 春奈	
授業の回数 16回	時間数 (単位数) 24時間 (2単位)	配当学年・時期 2年後期	必修・選択 必須
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なし</span>			
[授業の目的・ねらい] ○これまでの学んだ知識を活かし、登録販売者として必要な知識・スキルの研究を行います。			
[授業全体の内容の概要] ○症状に合った市販薬の違いをまとめ、発表します。 ○基本的な応急対応をまとめ、発表します。 ○ラッピングの基本的なスキルを学びます。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○症状に合った市販薬の違いがまとめられる。 ○基本的な応急対応をまとめられる。 ○基本的なラッピングができる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
第1～4回	基本的な応急対応		
第5～6回	発表		
第7～8回	ラッピング		
第9回～14回	症状に合った市販薬の違い		
第15～16回	発表		
[使用テキスト・参考文献]		[単位認定の方法及び基準]	
		① 4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ② 定期試験 (卒業研究) (100点) で評価。	



# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) ビジネスマナーⅡ	授業の種類 ((講義)・(演習)・実習)	授業担当者 相内 麻美子	
授業の回数 10回	時間数 (単位数) 15時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必須
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なし</span>			
[授業の目的・ねらい] ○より具体的なビジネスマナーを検定問題を通して修得します。 ○ビジネス実務マナー検定2級の合格を目指します。 [授業全体の内容の概要] ○ビジネスマナーを理論と実技、試験対策に分けて学びます。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○ビジネスマナーの基本から応用までの知識を理解している。 ○ビジネス実務マナー検定2級の内容を理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]  第1回 (理論) 必要とされる資質／過去問題を使用しての解説 第2回 (理論) 企業実務 / " 第3回 (実技) 対人関係、マナー／接遇用語／交際業務 第4回 (実技) 技能／過去問題を使用しての解説 第5回 (実技) 記述対策 第6～9回 過去問題対策 第10回 定期試験			
[使用テキスト・参考文献] ①『ビジネス実務マナー検定実問題集1・2級』 実務技能検定協会 ②『この1冊で決める秘書検定合格教本2・3級』 新星出版		[単位認定の方法及び基準] ①4/5以上の授業に参加していること で、定期試験を受験することができる。 ②定期試験(100点)で評価。	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) W o r d	授業の種類 ( 講義 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">演習</span> ・ 実習 )	授業担当者 佐藤 和成	
授業の回数 16回	時間数 (単位数) 24時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・後期	必修・選択 必修
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">なし</span>			
[授業の目的・ねらい] 1. 文字入力の基本操作から標準的なビジネス文書の作成を習得させる。 2. コンピュータサービス技能評価試験 (ワープロ部門) 2級合格を目指す。			
[授業全体の内容の概要] ひとり一台パソコンが操作できる環境で、授業を行う。プロジェクターで画面指示を行いながら、学生各自で操作を行い、これを習得させる。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] 仕事、日常生活のなかのパソコン使用に役立てる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1. オリエンテーション 2. タイピング①、パソコンのしくみと基本的な操作 3. タイピング②、Microsoft Word の基本操作 4. 文字入力～ひらがな、カタカナ、アルファベット、記号、ファンクションキーの活用 5. 文書の編集操作①～ページ設定による余白の変更、文字数及び行数の変更 6. 文書の編集操作②～コピーまたは切り取りと貼り付け、著作権について 7. 文書の編集操作③～挨拶文の挿入、頭語と結語 8. 文書の編集操作④～文字 (フォント) の編集、文字列の配置、箇条書きと字下げ 9. 文書の編集操作⑤～差し込み文書 10. 表の挿入と編集 11. 図形の挿入と編集 12. 画像の挿入と編集 13. 表や図形、画像の入った文書の作成 14. コンピュータサービス技能評価試験 (ワープロ部門) 対策① 15. コンピュータサービス技能評価試験 (ワープロ部門) 対策② 16. コンピュータサービス技能評価試験 (ワープロ部門) 対策③			
[使用テキスト・参考文献] 授業担当者作成のプリント使用		[単位認定の方法及び基準] ①4/5 以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ②定期試験 (100点) で評価する。	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) E x c e l	授業の種類 ( 講義 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">演習</span> ・ 実習 )	授業担当者 佐藤 和成	
授業の回数 20回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・後期	必修・選択 必修
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">なし</span>			
[授業の目的・ねらい] 1. エクセルの基本操作から計算・集計、グラフの作成、データベースの管理などを習得させる。 2. コンピュータサービス技能評価試験 (表計算部門) 2級合格を目指す。 3. プレゼンテーションで活用する機会が多い PowerPoint の基本操作を習得させる。			
[授業全体の内容の概要] ひとり一台パソコンが操作できる環境で、授業を行う。プロジェクターで画面指示を行いながら、学生各自で操作を行い、これを習得させる。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] 仕事、日常生活のなかのパソコン使用に役立てる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1. オリエンテーション、エクセルの代表的な機能について 2. ワークシートの入力と設定について 3. 作表機能について 4. 計算・集計機能について 5. グラフの作成について 6. データベースの管理について 7. さまざまな関数について 8. 中間まとめとコンピュータサービス技能評価試験 (表計算部門) の問題分析 9～13. プレゼンテーションと PowerPoint について①～⑤ 14～20. コンピュータサービス技能評価試験 (表計算部門) 対策①～⑦			
[使用テキスト・参考文献] 授業担当者作成のプリント使用		[単位認定の方法及び基準] ①4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ②定期試験 (100点) で評価する。	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) ペン字	授業の種類 ((講義)・(演習)・実習)	授業担当者 佐藤 真由美	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 45時間 (3単位)	配当学年・時期 1年・通年	必修・選択 必須
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なし</span>			
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文字を綺麗に書く技術を習得し、就職活動や就職後に活かします。</li> <li>○競書出品で美しい文字を習得します。</li> </ul> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペン字の基本を学び、ひらがな・楷書・行書の書き方を習得します。</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペン字の基礎知識を理解している。</li> <li>○自分の名前や住所等を綺麗に書くことができる。</li> <li>○美しい文字で整った文章を書くことができる。</li> </ul>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第1～4回          硬筆書写テキストNo.1を用い、楷書の基本を学ぶ</p> <p>第5～7回          硬筆書写テキストNo.2を用い、行書の基本を学ぶ</p> <p>第8～32回        月刊『ペンの光』を使用し、課題を練習し毎月、競書出品を行う</p>			
[使用テキスト・参考文献]		[単位認定の方法及び基準]	
① 月刊教書誌『ペンの光』 日本ペン習字研究会編集発行		① 4/5以上の授業に参加していることで、 定期試験を受験することができる。	
② 『硬筆書写テキスト』No.1～No.7 日本ペン習字研究会編集発行		② 定期試験 (課題) (100点) で評価。	

# 授 業 概 要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 就職対策	授業の種類 ( 講義・演習・実習 )	授業担当者 三原 啓	
授業の回数 18回	時間数 (単位数) 27時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・通年	必修・選択 必修
実務経験 あり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なし</span>			
[授業の目的・ねらい] 1. 働く意義や職業の理解を通じて、自らが目指す職業の理解を深める。 2. 自己理解を深めることで、自らの強みや就職後の姿を明確にする。 3. 就職活動に必要な知識や技能の習得及び就職活動情報の収集により、主体的に就職活動を進められるようになる。			
[授業全体の内容の概要] ワークによる職業理解、自己理解を行います。 講義を通して就職活動に必要な知識や技能を学び、演習によって体得を目指します。			
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] 1. 働く意義や職業の理解ができ、自らが目指す職業の理解が深まる。 2. 自己理解を深めることで、自らの強みや就職後の姿が明確になる。 3. 就職活動に必要な知識や技能の習得及び就職活動情報の収集により、主体的に就職活動ができる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1. オリエンテーション、自己分析 (過去) 2. 自己分析 (V I A診断、強みの活かし方)、職業理解 3. 自己分析 (現在) 4. 自己分析 (未来) 5. 応募書類 (履歴書、証明書、封筒) について、履歴書作成 6. エントリーシートについて、エントリーシート作成 7. 採用試験 (筆記試験、S P A、適性検査) について 8. 筆記試験対策 (一般教養、クレペリン検査、性格適性検査) 9. 身だしなみ講座 10. 採用試験 (作文小論文、面接試験) について 11. 採用試験 (面接試験) について、面接対策 (入退室、お辞儀、姿勢) 12. 模擬面接 (集団) 試験対策 13. 模擬面接 (集団面接、振返り) 14. 模擬面接 (個別) 試験対策 15. 模擬面接 (個別面接、振返り) 16. 就職説明会について、就職活動におけるコンテンツ活用について			
[使用テキスト・参考文献] 授業担当者作成のプリント		[単位認定の方法及び基準] ①4/5以上の授業に参加していることで、定期試験を受験することができる。 ②模擬面接 (50点)、出席状況及び授業態度、課題提出 (50点) で評価する	

